

課題名(タイトル):

Nonlinear optical phenomena in correlated material

利用者氏名:

○村上雄太

理研における所属研究室名:

創発物性科学研究センター 計算物質科学研究チーム

1. 本課題の研究の背景、目的、関係する課題との関係

近年、強相関電子系の非平衡物性が注目を集めている。本研究では、強相関電子系の光誘起ダイナミクスを数値シミュレーションを用いて評価することで、新しい非平衡物性を探索することを目的としていた。しかしながら、申請者の異動や研究内容の変更に伴い、スパコンを利用せずに終わってしまった。

2. 具体的な利用内容、計算方法

非平衡動的平均場理論等を用いた方法を想定していた。

3. 結果

該当なし。

4. まとめ

該当なし。

5. 今後の計画・展望

該当なし。

6. 利用がなかった場合の理由

申請当初に予定していなかった、人事の異動(理研を退所)や研究の活動方針の変換により、スパコンを用いる機会を失ってしまった。